

小樽市教育推進計画
主體的に学び
小樽の未来を創る
心豊かな人づくり

銭函地区の子どもたちの9年間を共にはぐくむ

銭函地区では、3つの小学校と1つの中学校との計4校で小中一貫教育を推進しています。また、4校で1つの学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなって、地域とともにある学校づくりを目指しています。



小樽市小中一貫教育基本方針

- 1 目標をつなぐ
- 2 子どもの学びをつなぐ
- 3 子どもの心をつなぐ
- 4 教職員の意識をつなぐ
- 5 家庭・地域との絆をつなぐ

●目指す15歳の姿 (銭函中学校の教育目標 令和5年4月制定)

夢や目標に向かって努力し、やり遂げる生徒

令和8年度 小樽市立銭函小学校グランドデザイン 【開校145周年】

社会の要請

- ・日本国憲法、こども基本法、教育基本法等各種法令
- ・子どもの権利条約
- ・学習指導要領
- ・北海道教育推進計画
- ・後志管内教育推進の重点
- ・小樽市教育推進計画

【学校の教育目標】(令和8年4月制定)

えがお・やさしさ・やる気
あふれる 銭小の子

【年度の重点目標】

みんな笑顔 ~安全・安心な学校~

保護者・教職員の願い

- ・自分らしさ(よさ)を発揮しながら生き生きと楽しく学校生活を送る子どもの育成【えがお】
- ・思いやりや寛容な心をもち、多様性を認め、仲間と協力しなから活動する子どもの育成【やさしさ】
- ・自ら考え行動し、目標に向かって最後まであきらめず、粘り強く学ぶ子どもの育成【やる気】

【取組の重点】

【重点1】安全・安心な学校づくり

- ・時を守り(チャイム着席)、場を清め(整理整頓)、礼を正す(挨拶、やさしい言葉遣い)
- ・「互いに認め合い支え合う」取組による温かい学級・学校づくり
- ・道徳教育、人権教育、情報モラル教育、非行防止教室等
- ・警察、福祉等の関係機関との連携

【重点2】授業改善・学力向上

- ・小樽授業づくりの5つのSTEP!!を基盤とした授業づくり
- ・基礎を確かにし、安心して学び合う子どもの育成
- ・チーム・ティーチングによる指導(全学年算数)
- ・放課後学習(長期休業中の学習サポート)
- ・家庭学習(自主学習)の取組

【重点3】体力・運動能力の向上

- ・新体力テストの「自己記録更新会」を9月と2月に行い、体力向上の取組の検証を行う
- ・授業の冒頭に、スキップ運動やなわとび運動を行う
- ・体育専科による指導(高学年)
- ・新体力テストの記録等の掲示
- ・運河ロードレース大会への参加

【指導の方針】全職員で全児童のサポートを! 「副担任制」「教科担任制」「組織的な生徒指導」

学級経営の基盤づくり
~居心地の良い学級を目指して~

【自己存在感】

- ・自分が一人の人間として大切にされていると感じる。誰かの役に立った(認められた)と感じる。

【共感的人間関係】

- ・失敗を恐れない。できないことや間違いを笑わない。なぜそう思ったのかみんな考えてみる。

【自己決定の場】

- ・自分の意見を述べる(伝わる言葉で)。対話や議論をする。協力し合う。磨き合う。

【安全・安心な風土】

- ・「わからない」「できない」と言える学級づくり。「絆づくり」と「居場所づくり」

教職員としての心構え

~できないことの指摘より、できたことの称賛を~

【ほめる3S】

「すごい!(驚き)」「さすが!(尊敬)」「すばらしい!(優秀)」

【ケアの3D】(頭ごなしに叱らない)

「どうしたの?(傾聴)」

「どうしたいの?(自己決定を促す)」

「先生は、どうすればいい?(支援)」

【教育公務員として】

- ・コンプライアンス意識とマナーの向上
- ・危機管理意識の向上 ・情報共有と組織対応
- ・前例踏襲ではなく、検証、改善、プラスワン思考で
- ・環境の3S「整理」「整頓」「清掃」

【銭函地区の子どもをみんなで育むために】 義務教育9年間を通じた小中一貫教育の充実 地域と共にあるコミュニティ・スクールの取組 地域の学校等との連携・協力(特別支援学校、北海道職業能力開発大学校、松泉学院 等)